



重度障害者の地域生活における社会的課題

障害者が暮らしやすい社会は誰もが暮らしやすい社会です

障害者の中でも重度障害者が地域で生活するためには介助、住居、所得保障をはじめ様々な支援施策が必要です

名古屋市では斎藤まことの1991年からの議会での活躍の成果により、全国でも介助制度が充実してきました

しかし、制度は充実しても介護人材の不足や就労する上で介助制度の不備など、まだまだ多くの課題があります

四肢麻痺で常時介助を必要としながら市内でひとり暮らしの実践者から、生活の中から見えてくる課題をお話いただきます。

ゆうじ

講師 **近藤 佑次** さん →写真左側

〈プロフィール〉24歳のときにスポーツ中の事故で頸椎損傷になり胸から下が麻痺の重度障害者となる。介助制度を利用し、実家を離れてひとり暮らし。これまでにバリアフリー、アジアの障害者支援、名古屋城木造天守にEVをつけるための活動に取り組んできた。外国人ヘルパーとの日常をTikTokに投稿し話題に。



日時

7月28日(日) 14:00~16:30
(13:30開場)

場所

栄ガスビル5階キングルーム ウラ面 地図あり
名古屋市中区栄三丁目15番33号 tel:052-732-3211

申込フォーム



プログラム

★資料代：500円 ★手話・要約筆記あり

14:00 あいさつ

14:10 学習会「重度障害者の地域生活における社会的課題」

15:10 質疑

15:30 休憩

15:40 「仲間たち」の今後の活動について&意見交換

みんなと共に名古屋をかえる仲間たち 7月28日学習会

参加申込用紙

私は「みんなと共に名古屋をかえる仲間たち」7月28日の学習会に参加します

お名前	
ご所属 (あればご記入ください)	
連絡先電話番号	
メールアドレス	
コメント欄	

FAX送信先 **052-938-5309**

会場地図



【東山線・名城線】

「栄」駅下車 西改札口より三越方面 サカエチカ6番出口 徒歩5分

【名城線】

「矢場町」駅下車 北改札口より6番出口 徒歩3分